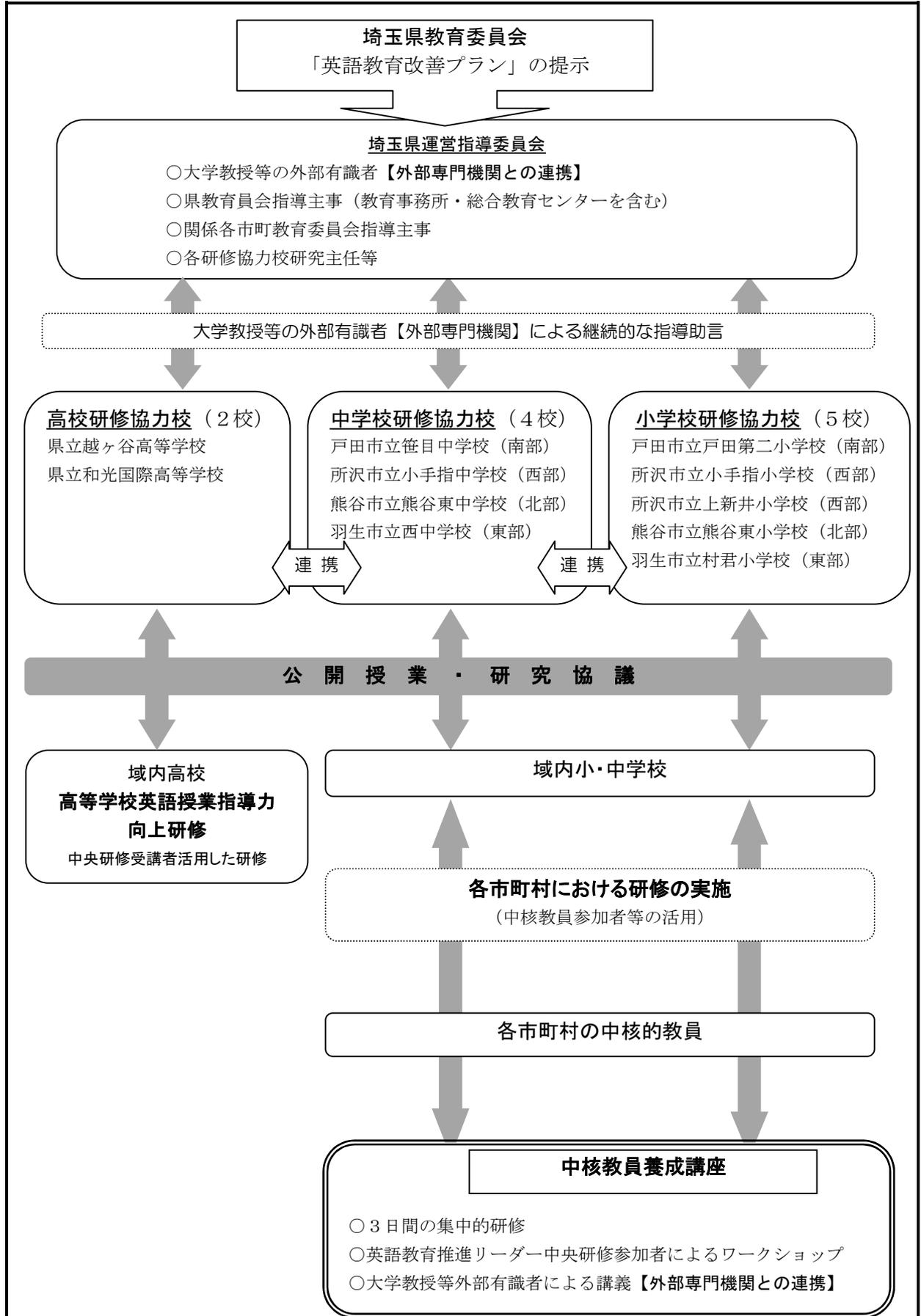


埼玉県英語教育改善プラン

1. 実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

○英語教育の状況を踏まえた目標管理

当該年度実施の文部科学省「英語教育実施状況調査」（以下、「調査」という。）を活用した目標管理を行う。

①求められる英語力を有する全担当教員に占める割合

【中学校】

H27 調査結果：25.7% (315 人/1,225 人)

H29 達成目標：50% (H29 調査結果による)

◆目標を達成するための具体的な手立て

- (1) 各種会議において、検定試験等の受験を促すとともに、特別料金制度の周知を行う。
- (2) 英語の授業を英語で行うよう研修等で指導を徹底する。

【高等学校】

H27 調査結果：49% (559 人 1,141 人)

H29 達成目標：80.0% (H29 調査結果による)

◆目標を達成するための具体的な手立て

- (1) 各種会議において、検定試験等の受験を促すとともに、特別料金制度の周知を行う。
- (2) 教員研修等における効果測定の一環として、外部検定試験を実施する。
- (3) 英語の授業を英語で行うよう研修等で指導を徹底する。

②求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合

【中学校】

H27 調査結果：39.8% (20,263 人/50,903 人)

H29 達成目標：50.0% (H29 調査結果による)

◆目標を達成するための具体的な手立て

- (1) 各種検定試験の受験を促す。
- (2) 研修協力校における定期テストやパフォーマンステストに関する研究成果を普及し、生徒の英語力を的確に把握できる評価方法の改善を図る。

【高等学校】（英検準2級レベル）

H27 調査結果：35% (13,117 人 37,609 人)

H29 達成目標：50.0% (H29 調査結果による)

◆目標を達成するための具体的な手立て

- (1) 各種検定試験の受験を促す。
- (2) 研修協力校における定期テストやパフォーマンステストに関する研究成果を普及し、生徒の英語力を的確に把握できる評価方法の改善を図る。
- (3) 外国語学科設置校の生徒を対象とした特別受験制度を活用による積極的な受験の推進を図る。

③「CAN-DOリスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）

【中学校】

H27 調査結果：総学校数：360 設置学校総計：117 (32.5%) 公表学校総計：50 (13.9%)
達成状況の把握：67 校% (18.6%)

H29 達成目標：設置、公表、達成状況の把握ともに100% (H29 調査結果による)

◆目標を達成するための具体的な手立て

- (1) 「CAN-DOリスト」の意義の周知を一層図る。
- (2) 研修協力校における研究成果を普及する。

【高等学校】

H27 調査結果：総学校数：138 校 設置学校数計：26 校 (18.8%) 公表学校数計：8 校 (4.3%)
達成状況の把握：8 校 (5.8%)

H29 達成目標：設置、公表、達成状況の把握ともに 100%（H29 調査結果による）

◆目標を達成するための具体的な手立て

- (1) 教員研修等において「CAN-DOリスト」に係る内容を扱う。

④授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

【中学校】

H27 調査結果：79.3%（1,309人/1,651人 ※延べ授業担当教員数）

H29 達成目標：80.0%（H29 調査結果による）

◆目標を達成するための具体的な手立て

- (1) 研修協力校における実践事例を各種研修会で紹介し普及する。
- (2) 研修協力校における公開授業等において、生徒の英語活動事例を紹介する。
- (3) アクティブラーニング（協調学習）についての研修・研究を実施。（年間）

【高等学校】（普通科等（コミュニケーション英語Ⅰ）及び英語教育を主とする学科（全調査科目）で授業の半分以上の時間）

H27 年度調査結果：33.3%（187人/560人 ※授業担当教員数）

H29 達成目標：60.0%（H29 調査結果による）

◆目標を達成するための具体的な手立て

- (1) 研修協力校における実践事例を各種研修会で紹介し普及する。
- (2) 研修協力校における公開授業等において、生徒の英語活動事例を紹介する。
- (3) アクティブラーニング（協調学習）についての研修・研究を実施。（年間）

⑤「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

【中学校】

（スピーキングテスト）

H27 調査結果：年間 2.9 回（平均）

H29 達成目標：全校・全学年で年間 5 回実施（H29 調査結果による）

（ライティングテスト）

H27 調査結果：年間 2.4 回（平均）

H29 達成目標：全校・全学年で年間 5 回実施（H29 調査結果による）

◆目標を達成するための具体的な手立て

- (1) 研修協力校における実践事例を各種研修会で紹介し普及する。
- (2) 英語教育推進リーダー研修終了者を活用した研修でのワークショップを実施する。
- (3) 各学校での実践事例を県ホームページで普及する。

【高等学校】

（スピーキングテスト）

H27 年度調査結果：年間 2.0 回（平均値）

H29 達成目標：全校・全学年で年間 5 回実施（H29 調査結果による）

（ライティングテスト）

H27 年度調査結果：年間 2.1 回（平均値）

H29 達成目標：全校・全学年で年間 5 回実施（H29 調査結果による）

◆目標を達成するための具体的な手立て

- (1) 研修協力校における実践事例を各種研修会で紹介し普及を図る。
- (2) 研修協力校における公開授業等において、生徒の英語活動事例を紹介し普及を図る。

⑥授業における、英語担当教員の英語使用状況

【中学校】

H27 調査結果：74.0%（1,221人/1,651人 ※延べ授業担当教員数）

H29 達成目標：80.0%（H29 調査結果による）

◆目標を達成するための具体的な手立て

(1) 「英語の授業は原則英語で実施すること」を教員に一層意識させること。

(2) 研修協力校や各学校での実践事例を各種研修会で紹介し普及する。

【高等学校】(普通科等(コミュニケーション英語Ⅰ)及び英語教育を主とする学科(全調査科目)で発話の半分以上を英語で行う)

H27 年度達成調査結果：34% (190人/560人)

H29 達成目標：70.0% (H29 調査結果による)

◆目標を達成するための具体的な手立て

(1) 研修協力校における実践事例を各種研修会で紹介し普及する。

(2) 研修協力校における公開授業等において、指導事例を紹介する。

(3) 英語教育推進リーダー中央研修受講者を活用した研修でワークショップ等を実施する。

(4) アクティブラーニング(協調学習)についての研修・研究を実施する。(年間)

⑦研修実施回数、研修受講者の人数

【小学校】

H27 実績：研修実施回数 13/年 研修受講者割合 4.5%

H29 達成目標：研修実施回数 70/年 研修受講者割合 15%

◆目標を達成するための具体的な手立て

(1) 研修協力校における公開授業・研究協議会の実施。

(2) 中核教員養成講座を実施。

(3) 中核教員養成講座参加者等を活用した研修会を市町村単位で実施するよう促す。

【中学校】

H27 実績：研修実施回数 13/年 研修受講者割合 38%

H29 達成目標：研修実施回数 70/年 研修受講者割合 80%

◆目標を達成するための具体的な手立て

(1) 研修協力校における公開授業・研究協議会の実施。

(2) 中核教員養成講座を実施。

(3) 中核教員養成講座参加者等を活用した研修会を市町村単位で実施するよう促す。

【高等学校】

H27 実績：研修実施回数 8/年 研修受講者対象人数 365人

H29 達成目標：研修実施回数 5/年 研修受講者割合 100%

◆目標を達成するための具体的な手立て

(1) 研修協力校における公開授業・研究協議会の実施。

(2) 高等学校英語指導力向上研修を実施。

(3) 高等学校英語指導力向上研修参加者等を活用した研修会を各所属校で実施するよう促す。

(3) 研修の体系と内容の具体

○ 研修の体系と内容の具体

【小学校】

1 中核教員研修(6～8月 3日間)

(1) 研修対象者：県内小学校外国語活動担当教員(市町村において中核的役割を果たす教員)

(2) 研修目的・内容：英語教育推進リーダー中央研修で取り扱う内容

(3) 受講予定者：約100名

(4) 外部専門機関との関わり等：大学教授を研修講師として依頼、ブリティッシュ・カウンシルが提供する研修資料を使用する、等

2 教育研究協議会(7月)

(1) 研修対象者：県内小学校教員

(2) 研修目的・内容：学習指導要領の実施、外国語活動の充実に係る研究協議

(3) 受講予定者：約710名

- 3 研修協力校（4校）による公開授業・研究協議（10月～2月） 120名
 (1) 研修対象者：県立小学校外国活動担当教員
 (2) 研修目的・内容：外国語活動の充実に係る公開授業及び研究協議
 (3) 外部専門機関との関わり等：県教委が委嘱する外部有識者（大学教授）による指導

【中学校】

- 1 中核教員研修（6～8月 3日間）
 (1) 研修対象者：県内中学校英語担当教員（市町村において中核的役割を果たす教員）
 (2) 研修目的・内容：英語教育推進リーダー中央研修で取り扱う内容
 (3) 受講予定者：約100名
 (4) 外部専門機関との関わり等：大学教授を研修講師として依頼、ブリティッシュ・カウンシルが提供する研修資料を使用する、等
- 2 教育程研究協議会（7月）
 (1) 研修対象者：県内中学校英語教員
 (2) 研修目的・内容：学習指導要領の実施、「CAN-DOリスト」の設置等について係る研究協議
 (3) 受講予定者：約200名
- 3 研修協力校（4校）による英語教員研修会（10月～2月） 120名
 (1) 研修対象者：県立中学校英語教員
 (2) 研修目的・内容：「英語で行うことを基本とする授業」の指導方法について公開授業及び研究協議の実施
 (3) 外部専門機関との関わり等：県教委が委嘱する外部有識者（大学教授）による指導

【高等学校】

- 1 高等学校英語指導力向上研修（5～10月 3日間）実施。
 (1) 研修対象者：県立高等学校英語担当教員等
 (2) 研修目的・内容：英語教育推進リーダー中央研修で取り扱う内容
 (3) 受講者240名
 (4) 外部専門機関との関わり等：ブリティッシュ・カウンシルが提供する研修資料を活用。
- 2 CAN-DOリストの設定にかかる教員研修会（7月）
 (1) 研修対象者：県立高等学校英語担当教員
 (2) 研修目的・内容：学習指導要領の実施、「CAN-DOリスト」の設置等について係る研究協議、ワークショップ
 (3) 受講者：約200名
- 3 研修協力校（2校）による英語教員研修会（公開授業）（11月） 約150名
 (1) 研修対象者：県立高等学校英語担当教員
 (2) 研修目的・内容：次期学習指導要領の内容を見据えたアクティブラーニングの手法の研究
 (3) 外部専門機関との関わり等：県教委が委嘱する外部有識者（大学教授）による指導
- 4 アクティブラーニング（協調学習）の研究・研修
 (1) 研修対象者：初任者、研究開発員（外国語科：80名） 年4回
 (2) 研修目的：東京大学と連携し、生徒が主体的に学ぶ意欲を育む教材開発や授業法の研究・実践。
 (3) 受講者：県立学校英語担当教員希望者

5 研修に係る運営改善・充実のための検討会議（1月）

(1) 参加者：英語教育推進リーダー、指導主事

(2) 内容：アンケート結果・参加者報告書等を基に、研修内容の成果と課題について検証、次年度へ向けての改善・目標等を検討

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	研修協力校等の指定 高等学校英語指導力向上研修講師打合せ会①	
5月	中核教員養成講座・研修担当者事前研修会 高等学校英語授業力向上研修①（高等学校）	
6月	中核教員養成講座①（小・中学校）（6/10） アクティブラーニングに関する英語教員研修①	大学教授等外部有識者
7月	教育課程研究協議会（4地区）（小・中・高等学校）	
8月	中核教員養成講座②③（小・中学校）（8/9,10） アクティブラーニングに関する英語教員研修② 高等学校英語指導力向上研修講師打合せ会①	大学教授等外部有識者 ブリティッシュ・カウンシル提供の研修資料
9月	高等学校英語指導力向上研修②（高等学校）	
10月	高等学校英語指導力向上研修講師打合せ会③ 高等学校英語指導力向上研修③（高等学校）	ブリティッシュ・カウンシル提供の研修資料
11月	公開授業・研究協議会（11月25日羽生市立西中学校） 公開授業・研究協議会（11月29日羽生市立村君小学校） アクティブラーニングに関する英語教員研修③（公開授業）（高等学校） アクティブラーニングに関する英語教員研修④	及川 賢氏 太田 洋氏
12月		
1月	アクティブラーニングに関する英語教員研修（シンポジウム・実践発表及び検証） 公開授業・研究協議会（1月13日所沢市立小手指小学校） 公開授業・研究協議会（1月31日所沢市立小手指中学校） 高等学校研修に係る運営改善・充実のための検討会議（課題と成果の検証）	大学教授等外部有識者 粕谷恭子氏 金谷 憲氏
2月	公開授業・研究協議会（2月 3日熊谷市立熊谷東小学校） 公開授業・研究協議会（2月10日熊谷市立熊谷東中学校）	粕谷恭子氏 金谷 憲氏
3月	研修協力校の成果の普及（HP掲載）	
【その他の取組】 ・外部検定試験を活用した生徒の英語力検証		